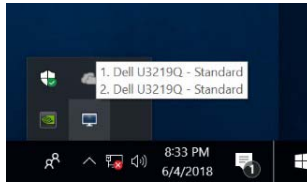



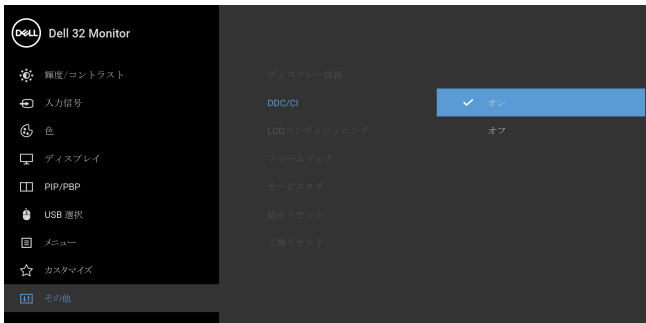
Dell Display Manager ユーザーズガイド

概要

Dell Display Manager は、モニターやモニターグループを管理するための Microsoft Windows アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、一部の Dell モデルで表示された画像、自動設定の割り当て、エネルギー管理、画面の整理、画像の回転、その他の機能を手動で調整することができます。Dell Display Manager をインストールしておくことで、毎回システムが起動するときに実行され、通知トレイにアイコンが配置されます。システムに接続されたモニターについての情報は、通知トレイのアイコンにマウスを合わせると表示されます。

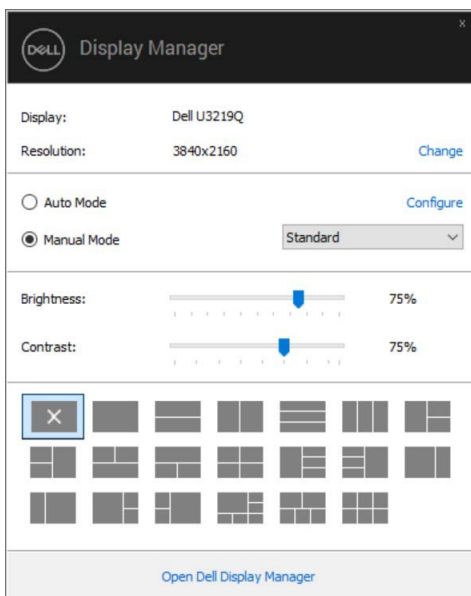


 **注 :** Dell Display Manager は、DDC/CI チャンネルを使ってモニターと通信します。下のように、メニューで DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



クイック設定のダイアログを使う

Dell Display Manager の通知トレイアイコンをクリックすると、クイック設定のダイアログが開きます。コンピューターにサポートされる Dell モニターが複数接続されている場合は、用意されたメニューを使用するとターゲットのモニターが選択されます。クイック設定ダイアログボックスでは、簡単に明るさ、コントラスト、解像度、画面のレイアウト、その他を調整できます。プリセットモードを自動的に切り替えたり、プリセットモードを手動で選択したりすることができます。

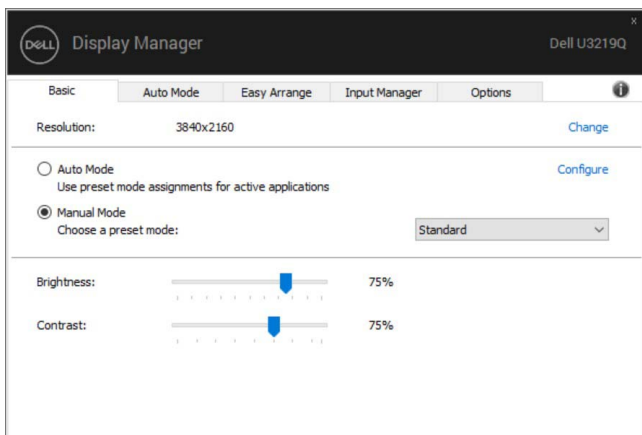


クイック設定のダイアログボックスからは、Dell Display Manager の高度なユーザーインターフェイスにもアクセスできます。ここからは、基本的な機能を調整したり、自動モードを設定したり、その他の機能にアクセスしたりすることが可能です。

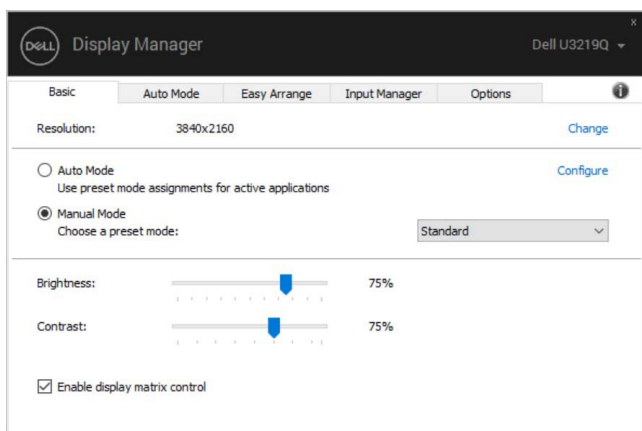


基本的なディスプレイ機能の設定

手動でプリセットモードを選択するか、または現在アクティブになっているアプリケーションによってプリセットモードを適用できる**自動モード**を選択したりすることができます。モードを変更すると、画面のメッセージとして現在の**プリセットモード**がしばらく表示されます。一部のモニターの**明るさとコントラスト**も**基本タブ**から直接調整できます。



注：複数の Dell モニターが接続されている場合は、「ディスプレイマトリクス制御」を選択すると明るさ、コントラスト、カラープリセット値を全モニターに適用できます。



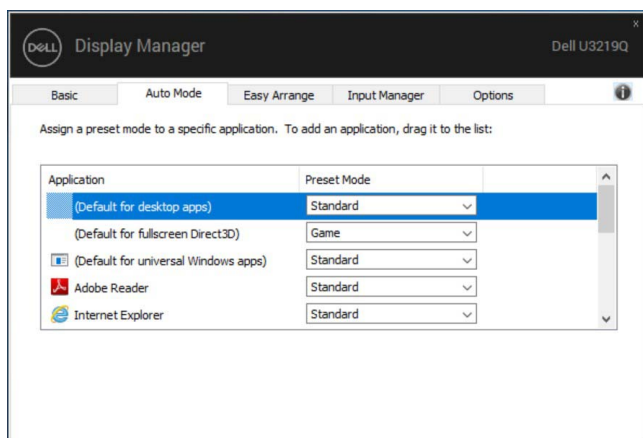
プリセットモードをアプリケーションに割り当てる

自動モードタブからは、特定のプリセットモードを特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用するように設定できます。自動モードを有効にすると、相当するアプリケーションがアクティベートされると、Dell Display Manager が自動的に相当するプリセットモードに切り替えます。各モニターで同じプリセットモードが特定のアプリケーションに割り当てられているかもしれませんが、プリセットモードが 1 台ずつ違うかもしれません。

Dell Display Manager は、多くの一般的なアプリケーション向けにあらかじめ構成されています。割り当てリストに新しくアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windows のスタートメニュー、その他の場所からアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。

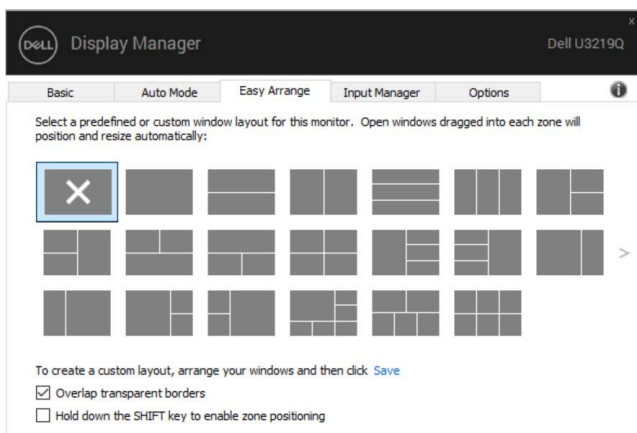
注：一連のファイル、スクリプト、ローダー、あるいは Zip アーカイブやパケット化されたファイルなどの非実行ファイルへのプリセットモードの割り当ては、サポートされていません。

フルスクリーンモードで Direct3D アプリケーションを起動するときには、ゲームプリセットモードを使用するように設定することも可能です。このモードでアプリケーションを使用しないためには、別のプリセットモードを割り当ててください。



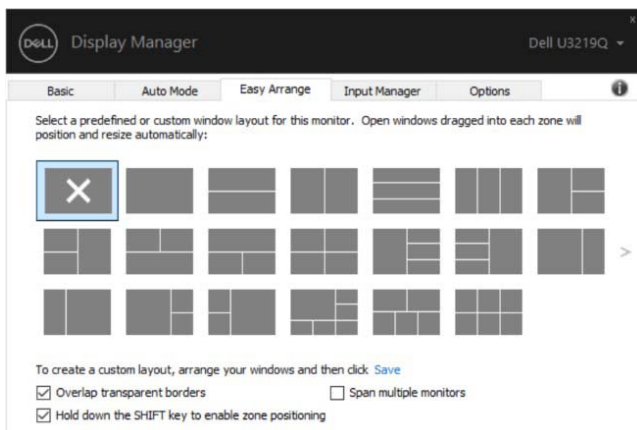
簡単アレンジで画面を整理します

簡単アレンジは、デスクトップ上のアプリケーション画面を効率的に整理するために使用します。あなたの作業環境に合った、あらかじめ定義されたレイアウトパターンを1つ選択した後は、アプリケーション画面を決められたゾーンにドラッグするだけです。「>」を押すか、上へ/下へキーを使って他のレイアウトも見ることができます。カスタムレイアウトを作成するには、開いた画面を並べ替えて、**保存**をクリックします。

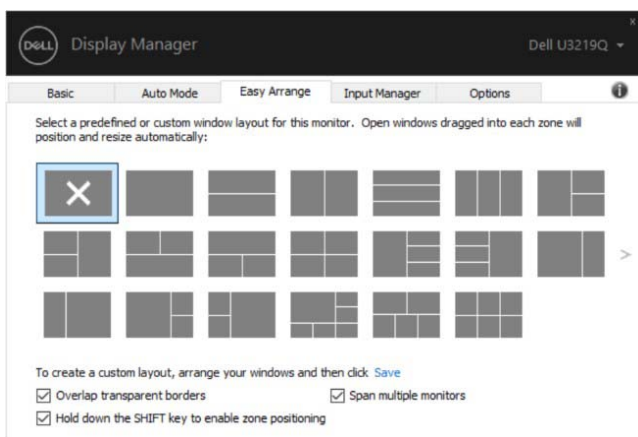


Windows 10 では、各仮想デスクトップに異なる画面レイアウトを適用することができます。

Windows スナップ機能を頻繁に使用する場合は、「**SHIFT キーを押しながらゾーンの位置を有効にする**」を選択できます。この機能は、簡単アレンジよりも Windows スナップを優先します。この機能を有効にしたときには、簡単アレンジで位置を調整する場合は、Shift キーを押す必要があります。



複数のモニターを一行または縦横に配置している場合は、**簡単アレンジレイアウト**を全モニターに適用して1つのデスクトップとして使用することができます。この機能を有効にするには、「**複数のモニタにまたがる**」を選択します。これを有効に活用するためには、モニターを適切に配置する必要があります。



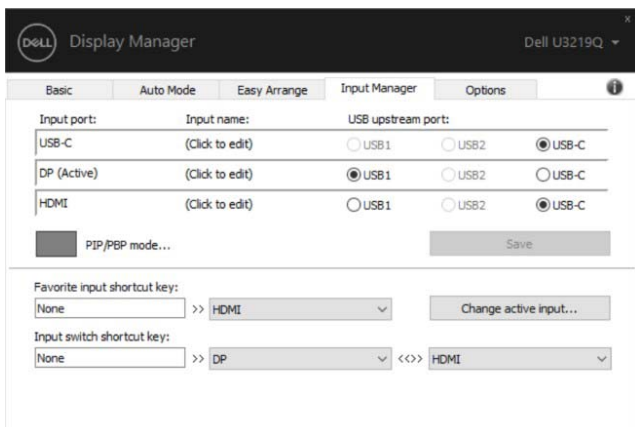
複数のビデオ入力の管理

インプットマネージャータブでは、Dell モニターに接続された複数のビデオ入力を簡単に管理する方法を選択できます。複数のコンピューターで作業をする場合、簡単に入力を切り替えることができます。

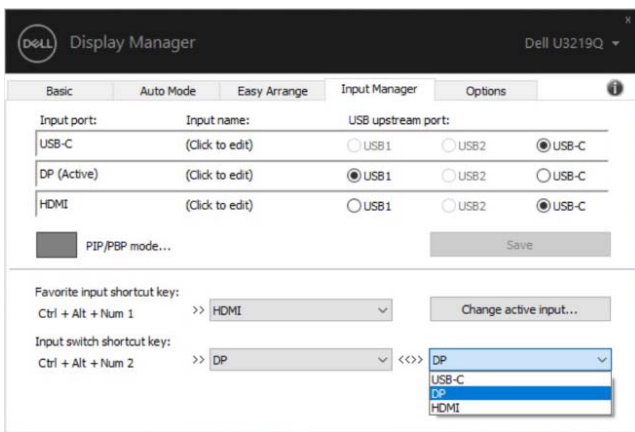
モニターで使用できるビデオ入力ポートはすべてリストされます。必要であれば、各入力に名前を付けることができます。編集した後は、変更内容を保存してください。

ある入力と別の入力を簡単に切り替えられるように別々のショートカットを定義することができます。





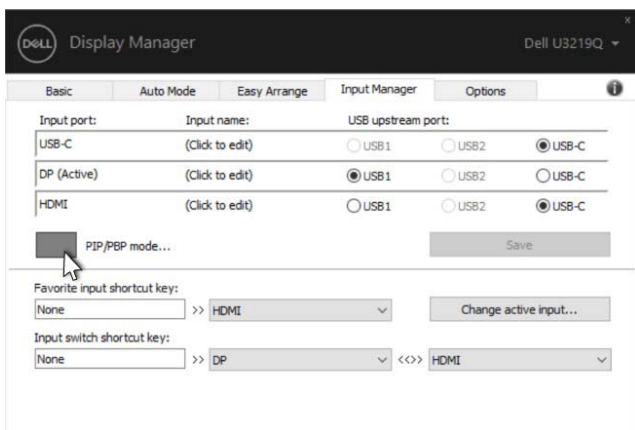
入力信号を切り替えるには、ドロップダウンリストを使用できます。



注： モニターが別のコンピューターの映像を表示していても、DDM はあなたのモニターと通信します。よく使用する PC に DDM をインストールし、そこから入力切り換えを操作することができます。モニターに接続した他の PC にも DDM をインストールできます。



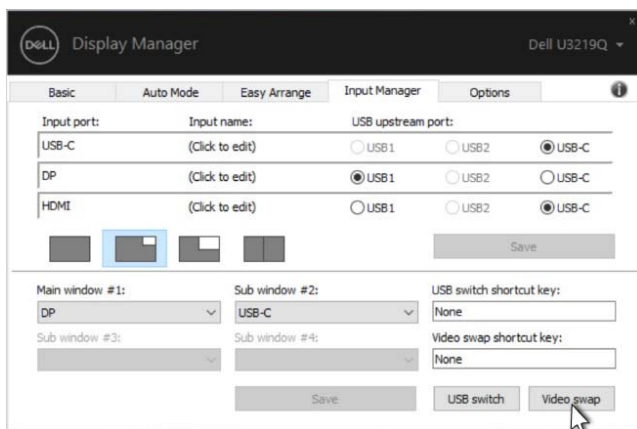
PIP/PBP モード選択ボタンをクリックして、任意のコンフィギュレーションを設定します。選択可能なモードはオフ、PIP 小、PIP 大、PBP です。



メインの画面とサブ画面のビデオ入力を選択できます。選択した後は、変更内容を保存してください。

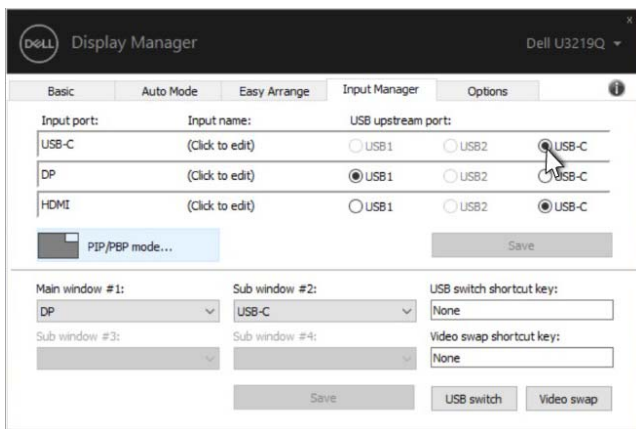
メインの画面とサブ画面の映像をすばやく切り替えられるように、ショートカットを定義することができます。

ビデオスワップボタンをクリックするか、定義した **Video swap shortcut key** (ビデオスワップショートカットキー) を使って、メインの画面とサブ画面の映像を切り替えてください。



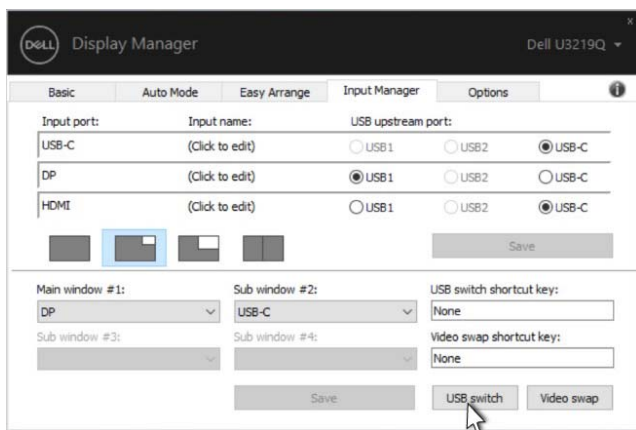
ビデオ入力で USB アップストリーム ポートを割り当てることができます。割り当てた USB アップストリーム ポートは、モニターに映像が表示されているときコンピューターに接続されます。

これは、モニターに接続したマウスやキーボードを 2 台のコンピューターで共有しているときに特に便利です。2 台のコンピューターで簡単にデバイスを切り替えられるように、ショートカット キーを割り当てることができます。




注： 2 台のコンピューターに USB アップストリーム ポートを割り当ててあるか確認してください。

PIP/PBP がオンのとき、2 台のコンピューターでデバイス（マウスなど）を共有すると、**USB 切替ボタン**をクリックするか、定義した **USB switch shortcut key（USB 切替ショートカットキー）**を使って 2 台のコンピューターでデバイスを簡単に切り替えることができます。

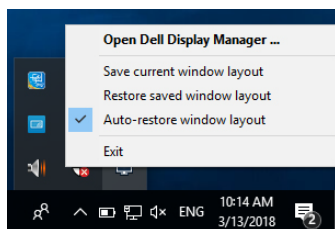


 **注：**2 台のコンピューターに USB アップストリーム ポートを割り当ててあるか確認してください。

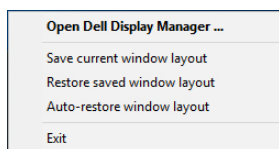
 **注：**別のコンピューターに切り替える前に、USB デバイスが正しく停止しているか確認してください。そうしなければ、サムドライブのデータが破損するなどの問題が生じる可能性があります。

アプリケーションの位置を復元する

DDM では PC をモニターに再接続したときに、アプリケーション画面を定位置に戻すことができます。通知トレイにある DDM アイコンを右クリックすると、この機能に簡単にアクセスできます。




「**ウィンドウのレイアウトを自動復元**」を選択すると、DDM がアプリケーション画面の位置を追跡し、保存します。DDM では PC をモニターに再接続したときに、アプリケーション画面を元の位置に自動的に戻します。



アプリケーション画面を動かした後、好きなレイアウトに戻すには、先に「**現在のウィンドウレイアウトを保存する**」してから「**保存されたウィンドウのレイアウトを復元する**」してください。

日常業務で異なるモデルや解像度のモニターを使用したり、異なる画面レイアウトを適用したりすることがあるかもしれません。DDM は再接続したモニターを記憶し、それに応じてアプリケーションの位置を復元することができます。

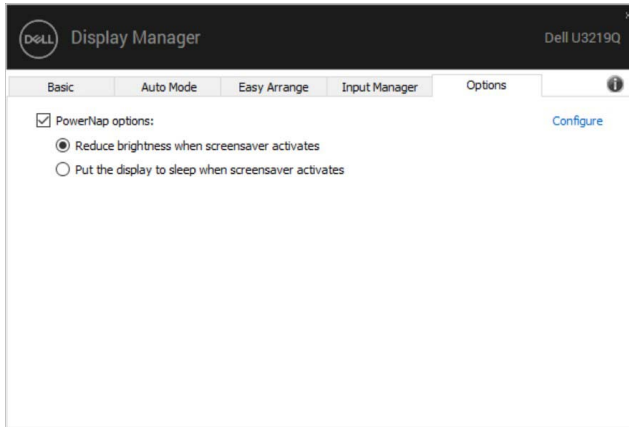
モニターを縦横配列に配置する必要がある場合は、配置を動かす前に画面のレイアウトを保存しておくこと、新しいモニターを設置した後でレイアウトを元に戻すことができます。

 **注：**この機能を活用するためには、アプリケーションを起動し続ける必要があります。DDM はアプリケーションを立ち上げません。



省エネ機能を適用する

サポートされる Dell モデルには、省エネオプション、PowerNap 省エネオプションを選択できる、オプションタブがあります。モニターの明るさを最低レベルに設定するか、スクリーンセーバーをアクティベートしたときに、モニターをスリープモードにすることができます。

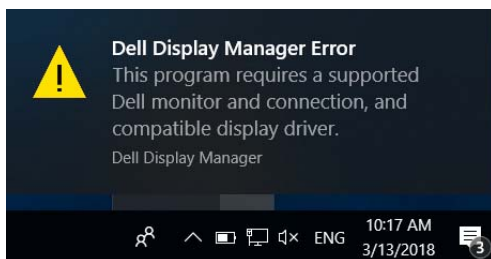


問題を解決する

お使いのモニターで DDM を使用できない場合は、通知トレイに次のアイコンが表示されます。



このアイコンをクリックすると、DDM が詳しいエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターでしかご使用いただけませんのでご注意ください。他のメーカーのモニターをご使用になっている場合は、DDM がそれらに対応していません。

DDM がサポートする Dell モニターを検出できない、または通信できない場合は、次の手順で問題を解決してください。

1. モニターと PC がビデオケーブルで正しく接続されているか、またコネクタがしっかりと挿入されているか確認してください。
2. モニターの OSD で DDC/CI が有効になっていることを確認してください。
3. グラフィックベンダー (Intel、AMD、NVIDIA) が提供する正しく最新のディスプレイドライバがあることを確認してください。しばしばディスプレイドライバが DDM エラーの原因となります。
4. モニターとグラフィックポートを繋ぐドッキングステーション、延長線、コンバーターを外してください。一部の低価格の延長線、ハブ、コンバーターは、DDC/CI を正しくサポートせず、DDM エラーを引き起こします。このようなデバイスのドライバに最新バージョンがある場合は、アップデートしてください。
5. システムを再起動します。

DDM は次のモニターとは作動しません。

- ・ 2013 年以前に製造された Dell モニター モデルまたは Dell モニター D シリーズ。詳細は、Dell 製品サポート ウェブサイトをご覧ください。
- ・ NVIDIA ベースの G-sync テクノロジーを使用したゲーミング モニター。
- ・ 仮想ディスプレイやワイヤレス ディスプレイは DDC/CI をサポートしません。
- ・ 一部の初期モデルの DP 1.2 モニターは、モニター OSD を使って MST/DP 1.2 を無効にする必要があるかもしれません。



PC がインターネットに接続されている場合は、DDM アプリケーションの新しいバージョンがリリースされるとメッセージで知らせます。最新の DDM アプリケーションをダウンロードしてインストールするようお勧めします。

また、Shift キーを押しながら DDM アイコンを右クリックすることで、新しいバージョンをチェックすることができます。

